

(保健体育)科(保 健)シラバス		1 単位	普通科 第 2 学年	1 ~ 4 組
年間の到達目標		1 個人や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践できるような意欲を育てます。 2 健康や安全についての理解を深めるとともに、現代社会における健康についての課題解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身につけます。 3 心身の健康や安全に関する課題解決を目指し、自らが意志決定を行い、適切な行動を選択し実践できる能力を身につけます。		
教科書・副教材等		現代保健体育(大修館書店), 現代保健ノート(大修館書店)		
学期	月	学 習 内 容	学習のねらい	
4	2	生涯を通じる健康	思春期における心身の発達や健康問題について理解を深め、性的成熟に伴って心理面、行動面が変化することを学習する。また、異性を尊重する態度を身につけ、性に関する情報への対処など適切な意志決定や行動選択ができるようにする。 健康な結婚生活について、心身の発達や健康状態など保健の立場から理解を深める。また、適切な意志決定や良好な人間関係を築くことが健康な生活の基盤となることを理解し、これを実践できる能力を身につける。 受精・妊娠・出産とそれに伴う健康問題、家族計画の意義や人工妊娠中絶の心身への影響などについて理解する。	
	(1)	思春期と健康 ・思春期の体と健康 ・思春期の心と健康		
	(2)	性意識と性行動の選択 ・性意識の男女差と性的欲求 ・性に関する情報と性行動		
	(3)	結婚生活と健康 ・心身の発達と健康な結婚生活 ・結婚生活と家族の健康		
5	(4)	妊娠・出産と健康 ・受精・妊娠・出産 ・妊娠・出産期の健康のために		
6	(5)	家族計画と人工妊娠中絶 ・家族計画の意義 ・避妊法とその選択 ・人工妊娠中絶		
7	期末考査範囲 教科書及びノートの指定範囲、配布プリント、視聴覚教材の内容 【課題・提出物等】 1 授業中に使用する保健ノートと配布するプリント 2 ビデオ視聴の感想や新聞記事の切り抜きにコメントして提出します。			
9	(6)	加齢と健康 ・加齢にともなう心身の変化 ・中高年期を健やかに過ごすために	加齢に伴う心身の変化について理解し、健やかに老いるためには日常の健康習慣や健康診断などの自己管理が重要であることを理解し、行動できるようにする。 中高年の健康には、地域の社会的交流や支援などの心理的・社会的要因がかかわっていることを理解する。また、高齢社会の到来に対応して、保健・医療・福祉の連携や総合的な対策が必要であること、社会復帰を図るためのリハビリテーションについて理解を深める。 わが国の保健・医療制度のしくみについて学習し、介護保険や臓器移植の制度が整備されていることを理解する。 生涯を通じて健康を保持増進するためには、自己の健康上の課題を的確に把握し、医療機関や種々の保健・医療サービスなどを適切に活用することが必要であることを理解する。	
	(7)	高齢者のための社会的とりくみ ・高齢者の健康とその支援 ・保健・医療・福祉の連携		
	(8)	保健制度と保健サービスの活用 ・保健行政の役割としくみ ・保健サービスの活用		
	(9)	医療制度と医療費 ・医療の供給と医療保険 ・医療費		
10	(10)	医療機関と医療サービスの活用 ・医療機関とその役割 ・医療サービスの活用		
11	期末考査範囲 教科書及びノートの指定範囲、配布プリント、視聴覚教材の内容 【課題・提出物等】 1 授業中に使用する保健ノートと配布するプリント 2 ビデオ視聴の感想や新聞記事の切り抜きにコメントして提出します。			
1	3	社会生活と健康	人間の生活や産業活動に伴う環境問題について、現状や健康被害の防止など、各自がテーマを決めた課題学習を進めます。 上下水道の整備や廃棄物の処理などの環境衛生活動の現状、問題点、対策などについて学習する。健康の保持増進のためには、環境や食品の保健が深く関わっていることを理解する。 職業病や労働災害についての理解を深め、働く人の健康の保持増進のための対策について学習する。また、日常生活における生活の質の向上を図ることが、健康の保持増進のために重要であることを理解し、行動できるようにする。	
	(1)	環境と健康 ・大気汚染 ・水質汚濁 ・土壌汚染		
	(2)	健康被害の防止と環境対策 (3) 環境衛生活動のしくみと働き (4) 環境と食品の保健 (5) 働くことと健康 ・労働災害 ・職業病		
2	(5)	健康的な職業生活		
3	学年末考査範囲 教科書及びノートの指定範囲、配布プリント、視聴覚教材の内容 【課題・提出物等】 1 授業中に使用する保健ノートと配布するプリント 2 ビデオ視聴の感想、各自テーマを決め新聞記事の切り抜きやインターネット等で調べレポートにして提出します。			
評価の観点	内 容		評 価 方 法	
関 心 意 欲 態 度 (20)%	・健康の保持増進に必要な事柄について関心を持っているか。 ・積極的に授業に参加しているか。 ・ノートやプリントのまとめ方に工夫がみられるか。		・授業場面での参加の仕方や意欲・態度の観察 ・提出物の記述内容からの読みとり ・定期考査の解答からの読みとり	
思 考 判 断 (10)%	・自分のこれまでの学習や体験、資料などや、他の人の考えを聞いたりして、課題の設定や解決方法を考え、判断しているか。		・提出物の記述内容からの読みとり ・授業中の発表内容からの聞きとり ・課題学習の発表からの聞きとり	
知 識 理 解 (70)%	・心身の健康や安全についての正しい知識が身についたか。 ・適切な生活行動を選択し、実践することが必要であることを理解しているか。 ・個人や社会生活における健康や安全について、課題解決に役立つ知識が身についたか。		・定期考査の結果 ・提出物の記述内容からの読みとり ・課題学習の発表の成果	
【担当者からのメッセージ】 健康問題がテレビや新聞等で大きく取り扱われる現状のなかで、正しい情報を取り入れ、適切な生活行動を選択できるようになることが求められています。 「保健」では、自分や家族の健康を保持増進するための基本的な事柄を理解するだけでなく、日常生活のなかの課題を見つけだし、解決の方法を導き出すことができるような授業を展開します。 日常生活において健康は、空気と同じように、あるのが当たり前でなくなると非常に困るものです。毎日の生活のなかで、「体の健康」「心の健康」に目を向けましょう。				